



林業技術センターの 活動内容について

センター長 秋田 修

はじめに



林業技術センターは、工業・食品製造・農林水産業・保健環境の研究を行う広島県立総合技術研究所の1機関として、他センターと連携を図りながら、県内の林業・木材産業振興や森林環境保全のための研究を行っています。意欲ある事業者や農林水産局の課題解決に注力し、地域の付加価値向上に貢献することで、森林所有者や事業者の方々の所得や生産性の向上を目指します。

このため、次の取組に対して強化・拡充を図ります。

第1は、顧客とのコミュニケーションの強化です。林業・木材産業者等への訪問や技術相談の聞き取り、当センター利用者からのアンケート調査等を通じて県内のニーズ分析・検討を行います。第2は、顧客起点での課題解決

に向けた、迅速かつ満足度の高い支援の充実です。ニーズに基づいた事業者等との共同研究や受託研究などを通じて、技術的課題への解決策を提案する「ソリューション提案型」支援を行います。

また、農林水産局が取り組む「2025広島県農林水産業アクションプログラム」と連携し、施策実現に必要な技術開発の提案や県内の林業・木材産業界の抱える課題の解決に向けた技術支援を強化します。

第3は、課題解決を支える技術基盤等の強化です。今後の課題解決に対応していくためには、従来技術の進化だけではなく、デジタル技術の活用が必要になってくることから、実践的な研修やOJTの実施等により、研究員のデジタル技術獲得を加速させます。今年度の具体的な試験研究の内容は次のとおりです。

I 試験研究課題



① 課題解決研究

技術支援では対応できない課題を迅速に解決するための技術開発を行います。今年度から3か年で、「早生樹コウヨウザンの高品質化（材質強度の優れた系統選抜）」（写真1）、「早生樹コウヨウザンの造林技術の確立（施業体系・獣害防除）」（写真2）、「機械化造林プロセスの確立（地形等解析に基づく林内走行経路の最適化）」（写真3・写真4）の研究を予定しています。



写真1 国内最大規模のコウヨウザン林（庄原市）優良品種選抜

② 基盤研究（行政ニーズ対応型）

新たな研究に取り組むための基礎研究や行政ニーズに対応するための研究を行います。

また、少花粉ヒノキ採種園を三原市久井町に造成中です。

III 技術支援



県内外の企業・団体に対する技術支援として、次の項目について有料で実施しています。

① 技術的課題解決支援事業（ギカジ）利用者からの依頼に応じて、課題の検討を行い、解決のための技術支援レポートを交付します。今年度も、木材試験等に関連した実施を予定しています。

② 設備利用及び依頼試験 県内外の企業・団体等からの要望に応じて、木材実験棟の五軸モルダークロスカッターのような木材加工機械、ホットプレスなどの設備利用を受け入れています。また、製材品の曲げ強度や引張強度など、材の性能に関する依頼試験も実施しています。

研究成果発表会について



令和3年度の研究成果発表会は、新型コロナウイルス感染拡大リスクを考慮し、前年度に引き続き、林業技術センターのホームページ上に「研究成果・事例の紹介」(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshi->

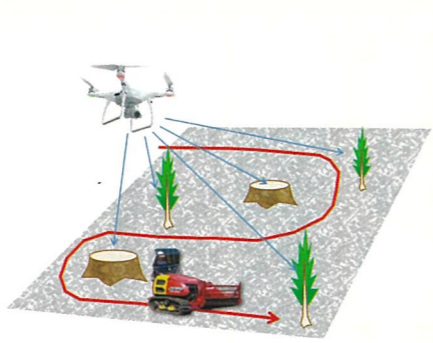


図1 位置情報（地形・切株・苗木）に基づく林内走行経路最適化（機械化造林プロセス）

④ 競争的研究資金（国費） 研究課題の公募型制度による競争的研究資金を活用して、国の研究機関や企業と連携した研究に取り組みます。

「コウヨウザンの下刈省略に向けた植栽密度試験及び効果的な野兎害対策手法の開発」の研究を予定しています。

II 行政支援事業



行政施策の推進に対応した技術支援を行います。

① 苗木生産体制整備事業

松くい虫抵抗性マツの採種圃管理・種子採取・接種検定、スギ・ヒノキ・コウヨウザンの優良種苗確保のための採種圃整備・種子採取を実施します。

おわりに



当センターは、研究開発や技術支援の成果を皆さまに広く活用していただけるよう早期の技術移転に努めています。

また、紹介しました受託・共同研究、ギカジ、設備利用及び依頼試験等については、随時対応していますので、当センター技術支援部（電話番号0824（63）0897（直通））までお問い合わせください。

森林のコンサルなら



株式会社 ミズキコンプライアンス

建設コンサルタント、森林調査、保安林解除、林地開発

〒732-0052 広島市東区光町2丁目7-17 Tel.082-568-0755

<http://www.mizuki-c.co.jp/> E-mail: mizuki@dance.ocn.ne.jp



写真3 自走式下刈機走行試験（三次市）



写真2 獣害防除資材の性能試験（安芸高田市）

今年度は、「少花粉ヒノキの人工授粉等を活用した高品質種子生産に関する技術開発」等を予定しています。③ 受託研究「共同研究含む」（民間資金等） 県内外の事業者等からの受託及び共同による研究に取り組めます。今年度は、スギ・ヒノキ等コンテナ苗の育成方法の研究を予定しています。